

鮮やかな新緑の中

それぞれの想いを胸に

きらめく汗と

はじける笑顔

最高気温が27度まで上がり汗ばむ陽気となった5月14日。第25回益城町「阿蘇くまもと空港・テクノ周辺」ジョギングフェアがテクノリサーチパークで盛大に開催されました。

今年3キロに1,140人、5キロに613人が参加。東京、神奈川、京都を含め県外からの参加者は92人でした。

開会式前には、木山中学校吹奏楽部によるアトラクションが行われ、受け付けを済ませた参加者を心地よい演奏で出迎えました。

恒例の日本エアロビック連盟の山本裕恵さんの軽快な掛け声とリズムによる準備体操が始まると、木陰に

待機していた参加者も思わず中央広場まで足を進めていました。

ジョギングをスタートすると、今年もアニメキャラクター等やユニークな着ぐるみ等を身にまとったランナーが多く見られるなど、それぞれ思い思いのコースチュームとペースで新緑に包まれたコースを満喫していました。

完走後は、町のイメージソング「オカエリナサイが聴こえる町」を制作した樋口了一さんのミニライブが行われ、復興の願いがこもった熱い歌声に、参加者たちはそれぞれの復興への想いとともにも聴き入っていました。



▲招待選手としてランナーを元気づけた旭化成陸上部コーチ佐藤智之さん

